

国際ロータリークラブ 2570 地区第4グループ  
本庄ロータリークラブ週報  
クラブテーマ「和顔愛語」



インスピレーションになるう

会長の時間

No.56-27 第2691回 第4例会 2019年1月31日(木)

会長 五十嵐敦子 会長エレクト 茂木聡

副会長 井河彰久 巴高志 野田貞之 幹事 金井福則

2018-2019年度国際ロータリー会長 バリー・ラシン

第2570地区ガバナー 茂木正



1月は職業奉仕月間ということで、今夜も職業奉仕のお話をさせていただきます。職業奉仕の概念ができたのが1927年、実証されたのが1929年の世界大恐慌の時です。此の時、ロータリアンの企業は一社も倒産しなかったと言われています。今夜は「二針三針の奉仕」に見るロータリーの本質と言うことで、靴屋さんの話をします。アメリカのニューヨークにジョン・ハンネーと言う靴屋がありました。ハンネーは同じ弟子仲間の一人とほとんど同時に、しかも軒を並べて靴屋を開業しました。1年後、隣の靴屋は 叔父さんから思いもよらぬ遺産を譲られて大金持ちになり、ハンネーの店の何倍も大きな靴屋になりました。ハンネーは焦りました。しかし、彼は苛立つ心を抑えて「何もそう隣をうらやむ事はない。一生懸命やれば、自分だってきっと大きな店を持つことが出来る」と腹を決め、今後の自分の仕事の方針を決めまし

た。「これからは、靴を作る時、手間を省かず、さらに二針三針の手間を靴ごとに添えていこう。そうすれば、靴の履き心地もいいし、長持ちもするようになる」とハンネーはこれが自分の靴だというものを作って行こうと決めました。そして最初は気付かれなくてもいい、いつかお客様が分かってくればいいと思いました。必ず、自然にお客様の信用も増し、お客様が増えてくれるだろうと信じたのです。こうしてハンネーは、あらゆる点に注意を加え、屈せず、たゆまず、努力を続けました。しかし2、3年たっても、隣の大きな店の方は相変わらず客の出入りも多いのに、自分の方は閑古鳥が鳴いていました。それでもハンネーはくじけず「良い仕事を、良い靴を作り続ける」と言う最初の方針を守り通しました。こうして5、6年もするとお客様は隣の店を通り過ぎ、ハンネーの店に来るようになったのです。十数年すると隣の店より大きな店になり、ついにジョン・ハンネーの靴屋は、アメリカ一番の靴屋になりました。彼の靴が高い評価を受け、信用という大きな財産を得て、大をなしたということです。ハンネーは「二針三針の奉仕」をつけて、靴と一緒にお客様の満足を売りました。だから彼は靴の代金を受け取る時、お金と同時にお客様の感謝を受け取ったのです。自分の職業である靴作りの「二針三針の奉仕」の実践のことをロータリーでは「職業奉仕」と言います。

## 新会員挨拶



温井康宏会員



高橋豊会員

## 親睦会風景



乾杯の挨拶  
洪澤健司会員



締め挨拶  
渋谷修身会員

## ニコニコ BOX

### フリーメッセージ

本庄第一高等学校剣道部 県大会優勝おめでとうございます

阪上清之介

### 定番メッセージ

今年第一回目の夜間例会です。皆さん交流を深めてください。

五十嵐敦子 金井福則 佐藤賀則 坂本雄一 坂本優蔵 高橋福八 巴高志 真下功  
茂木正 中島高夫 渋谷修身 岡崎正六 池田稔 池田敦司 滝沢博文 武藤真理子  
茂木聡 須田礼子 温井康宏 鈴木元道 真下敏明 斉藤一英 高橋順容 笠原勝  
高橋祐介 鈴木純 春山茂之 井川彰久 永井保之 長谷川京子 洪澤健司 矢島淳一  
高橋豊 中村孝 相川浩一 野田貞之 長崎隆司 金子章 飯塚明男 田島正明

### 出席率発表

会員数	出席免除会員	出席義務会員数	出席会員数	M・U	出席率 (%)
80	2	78	44	15	75.6

### 次回プログラム発表

第1例会 2692回例会 2月7日(木) 点鐘: 12時30分 卓話例会

場所・埼玉グランドホテル本庄

卓話者: 織田悦子様

テーマ「ロータリー希望の風」立ち上げの経緯

公共イメージ委員会 高橋順容委員長・堀野健太副委員長・戸谷清一会員・橋本和也会員

■例会日 毎週木曜時 12:30~13:30

■例会会場 埼玉グランドホテル本庄

■事務所 埼玉グランドホテル本庄 700号

Eメール honjorc@themis.ocn.ne.jp

〒367-0041 本庄市駅南 2-2-1

ホームページ

TEL0495-22-7522

<http://www.globals.jp/hp/HRotary/index.html>